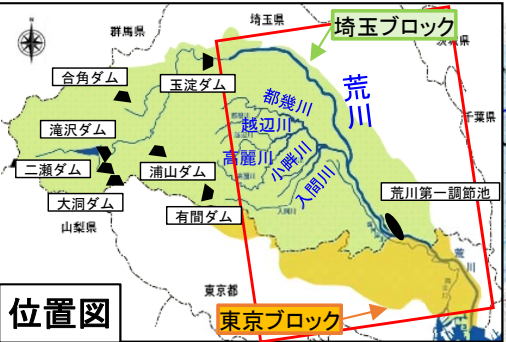


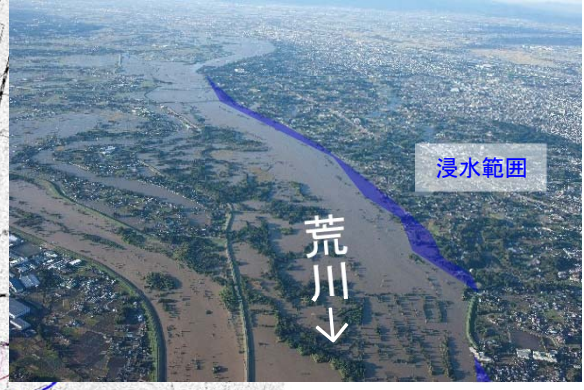
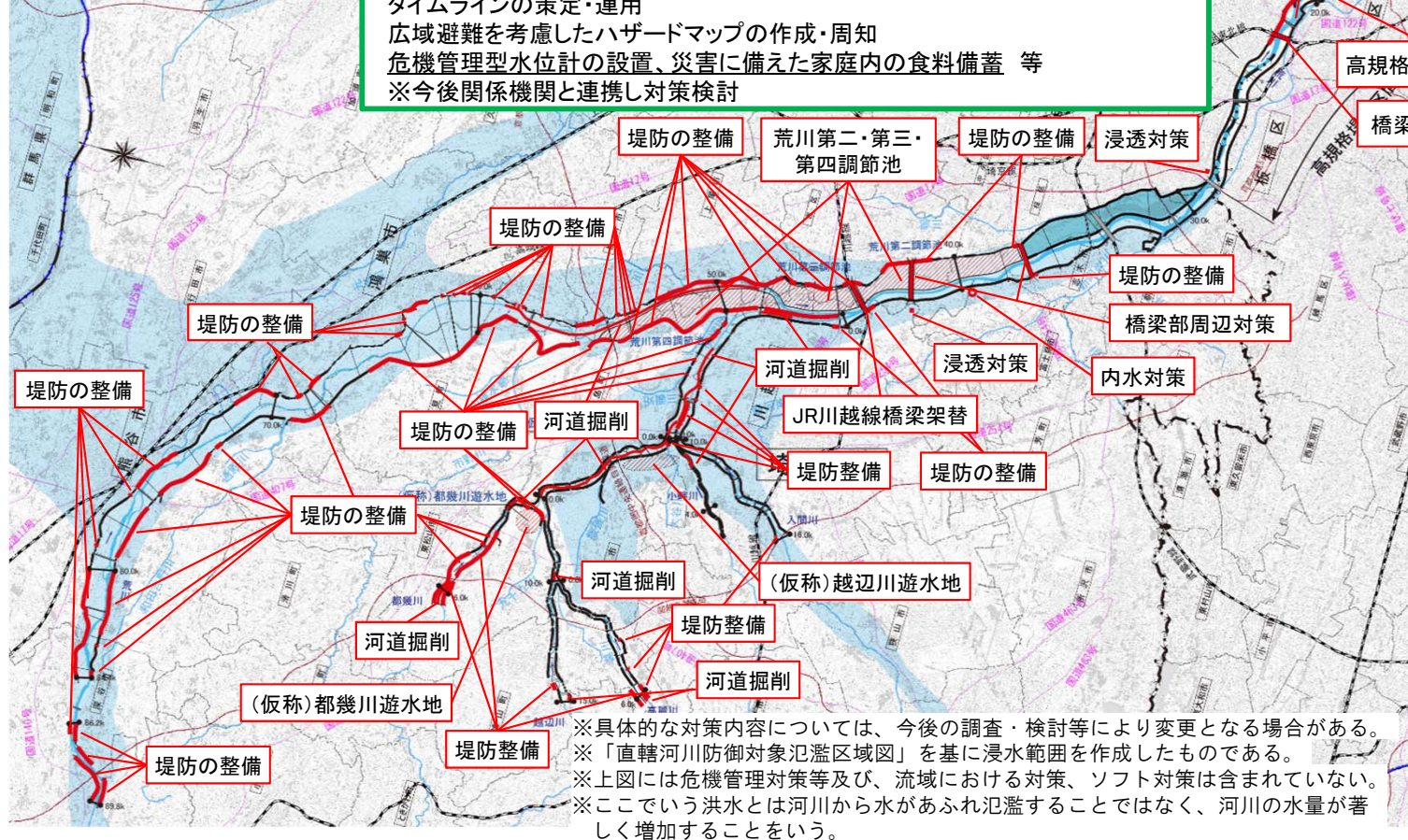
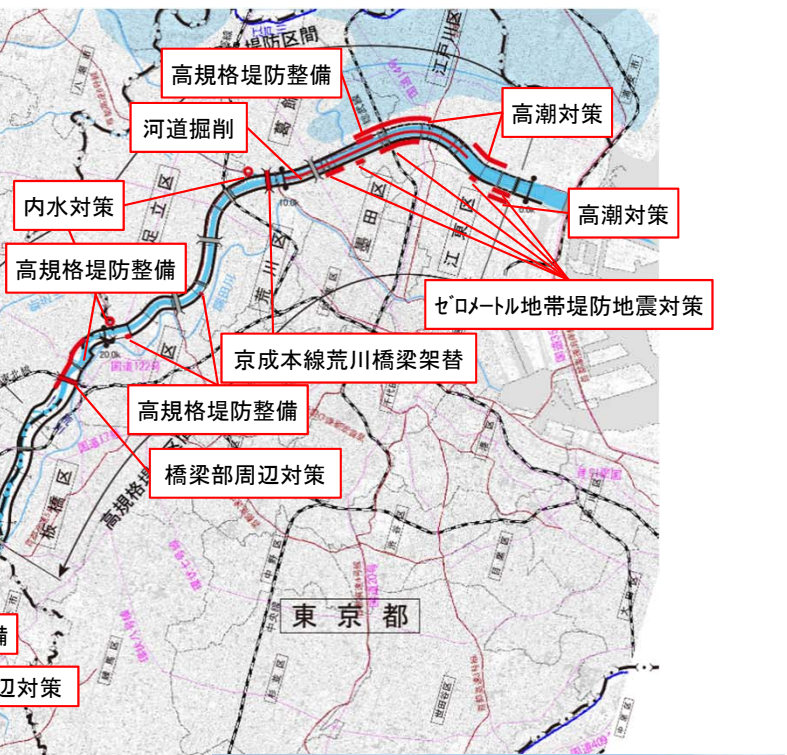
～我が国の社会経済活動の中枢を担う東京都及び埼玉県を守る抜本的な治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、荒川においても、事前防災対策を進める必要がある。そのため、以下の取り組みを実施し、昭和22年9月に発生した戦後最大規模の洪水を資産の集中する首都圏中枢部において安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



- 河川における対策**
 国の対策内容 堤防整備、河道掘削、洪水調節施設(調節池、遊水地)整備 等
 都の対策内容 護岸整備、調節池整備、橋梁架替、河道拡幅、河道掘削 等
- 流域における対策**
 下水道の雨水貯留施設・排水施設の整備、下水道の排水施設の耐水化
 高台まちづくりの推進
 雨水貯留・浸透施設の整備 等 ※今後関係機関と連携し対策検討
- ソフト対策(避難・水防等に関する対策)**
 タイムラインの策定・運用
 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知
 危機管理型水位計の設置、災害に備えた家庭内の食料備蓄 等
 ※今後関係機関と連携し対策検討



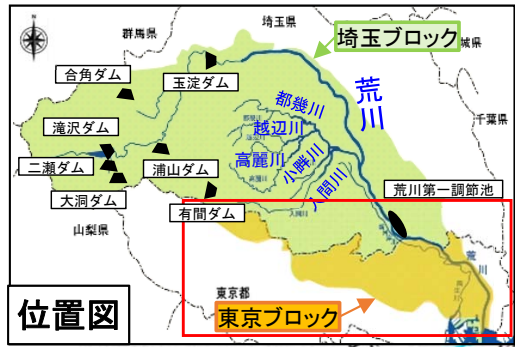
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
 ※「直轄河川防御対象氾濫区域図」を基に浸水範囲を作成したものである。
 ※上図には危機管理対策等及び、流域における対策、ソフト対策は含まれていない。
 ※ここでいう洪水とは河川から水があふれ氾濫することではなく、河川の水量が著しく増加することをいう。

浸水範囲(昭和22年9月洪水実績(カスリーン台風))

令和元年東日本台風 浸水実績

荒川水系（東京ブロック）流域治水プロジェクト 東京都管理区間【位置図】 2 / 2

～我が国の社会経済活動の中核を担う東京都及び埼玉県を守る抜本的な治水対策の推進～



平成17年9月豪雨 妙正寺川（中野区）

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
※上図には耐震対策、ソフト対策は含まれていない。
※上図の流域における対策は、代表事例を記載。